



石川賢治 (いしかわ けんじ)

安政6年(1859)谷地の前小路村に生まれました。生まれつき賢く学問が好きで、山形の済生館附設の医学寮、米沢の西洋学校、仙台中学校で英語を学び、志を立てて上京し慶応義塾に入学しました。福沢諭吉の教化によって、「谷地読書協会」を組織し、山形県の読書運動の草分けとなりました。

27歳の時、単身カナダに渡り、トロントで苦学を続け、見聞を広めて帰国。親戚や知人の協力を得て、資本金15万円で「株式会社 石川商会」を横浜に創立しました。その後、トロントに支店を設け、アメリカとカナダに生糸・絹布・ござ・段通(だんつう)を直輸出し、自転車・写真機・録音機などを直輸入しました。賢治は、日本とカナダ貿易の草創者であり、自転車業界の始祖と仰がれているのです。

谷地を去った後も、読書協会の育成や図書館建設について常に心を配り、明治44年(1911)私財の一部を図書館建設費として町に寄附しました。石川商会は誠実で手堅い取引の方針で社運は隆盛していましたが、度々の渡米と過労で倒れた賢治氏は、創立15年にして会社を解散してしまいました。

大正4年(1915)、待望の「大礼記念谷地図書館」が開館し、前小路に移転しました。終戦後間もなく、山形交通谷地営業所の火災で類焼、2年後六供に移転しました。昭和41年(1966)に児童会館に「河北町立中央図書館」が新設されましたが、現在はサハトベに花に併設されています。